

第 59 回 阪口 幸駿さん (同志社大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 59 回目は、阪口 幸駿さんにご執筆いただきました。

動物の脳から人間の心を探る

「心とは何か」という問いに対してどのような答えが考えられるでしょうか？恐らく研究者ごとに違った答えが返ってくると思います。そんな時に脳科学や神経科学などの科学的なアプローチを用いると、脳の活動状態を示して一義的に答えられるかもしれません。特に動物の脳であれば特定の神経細胞群のみを正確に活性化/不活性化できる技術が開発されており、私はこれを用いて動物が人間のような心を持つ脳の条件を探求しています。しかし例えば、「A という脳領域が心の発達に重要である」ということが分かったとしても、これが果たして本当に心を理解したことになるのか、悩ましくも感じています。もっと人間的で味のある答えに昇華させるためには、あなたは脳科学者に何を求めますか？

阪口 幸駿 (Yukitoshi SAKAGUCHI)

【所属】 同志社大学大学院 脳科学研究科

【連絡先】 nostalgia.ykts@gmail.com

【HP】 <https://researchmap.jp/yukitoshisakaguchi/>